

『昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 今年の抱負』

昭和大学藤が丘病院 院長 真田 裕

藤が丘リハビリテーション病院 院長 嶽山 陽一

『介護保健の申請について』

藤が丘リハビリテーション病院 医療福祉相談室

『安全はチームみんなの指と声』

『感染管理室より 感染性胃腸炎について』

『マンドリン・マンドラ・ギターで奏でるクリスマスコンサートを開催しました』

『青いサンタクロース 小宮山尊信選手が藤が丘病院に来院しました』



藤が丘病院屋上より富士山を望む

## 巻頭言 『昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 今年の抱負』



藤が丘病院 院長 真田 裕

平成23年 兎年の年頭に当たり新春のお祝いを申し上げます。今年の6月、7月には昭和大学藤が丘リハビリテーション病院・藤が丘病院はこの地に誕生して其々満21歳、36歳になります。この間、私達は昭和大学という医育機関として、地域の診療機関として、その責務を果たすべく努力を重ねてまいりましたが、皆様には多大なご指導ご支援を頂きましたことを心より御礼申し上げます。私共の今年の第一の目標は、急性期医療から回復期リハビリテーションまでを2つの病院で一貫して診療できる体制にすることです。藤が丘病院は横浜市の二次救急拠点病院ですから、ERでは入院治療が必要な救急患者さんを重点的に診療いたします。



リハビリテーション病院 院長 嶽山陽一

つまり、地域医療機関の先生方が診察され、藤が丘病院で検査や治療が必要だと判断された紹介患者さんや、救急車で当院に搬送された患者さんが優先される制度になっています。そのためには時間外に直接救急外来を受診しようとされる患者さんは、先ず横浜市救急医療情報センター(24時間対応電話045-201-1191)に連絡し、受診する医療機関がどこになるかを確認してください。私達が時間外診療をお断りせざるを得ないことには忸怩たる思いがありますが、より重症の患者さんを効率よく診療するという急性期病院の最重要課題を解決するためには止むを得ないと判断いたしました。皆様にはこの件 是非ともご理解を頂きたく伏して

お願い申し上げます。また、救命救急センターは今まで通り神奈川県・横浜市の三次救急システムに沿って超重症患者さんを受け入れてまいります。藤が丘病院のERや救命救急センターあるいは専門診療外来から緊急入院された患者さんは、診療計画に従って藤が丘病院の各専門病棟、藤が丘リハビリテーション病院の内科や機能回復期病棟などに移り、さらに患者さんの回復を待って、地域療養病床へ転院したりご自宅に退院していただきます。其の後は在宅医や訪問看護ステーションに依って必要な治療が継続できるよう、医師会の先生方と連携します。このように、藤が丘病院、リハビリテーション病院は共同して救急医療、専門医療、更には機能回復リハビリ医療の三者を充実させ、地域医師会との連携強化に向けて努力いたしますので、本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。

この広報誌をご覧になっている方のなかには、高齢でひとり暮らし、同じ夫婦二人世帯、またはそういった親御さんの心配をしている子ども達、関係者の方々がいらっしゃると思います。なかにはすでに生活することに不便があり、介護の必要性や不安を抱えていて、介護保険のサービスの利用や情報が必要になっている場合もあるかもしれません。

もしあなたが、自身や家族のために、介護保険のサービスを利用できるように準備したいと思っているけれど、忙しかったり、大変だったりしてその手続きに躊躇している場合を想定して、ここでは3つの方法があることをご案内したいと思います。最も一般的な申請方法は、本人の住民票がある自治体の役所の介護保険の窓口での認定申請手続きです。65歳以上の場合には本人の介護保険証と印鑑を持参してください。40歳以上の方でも特定疾病の16種類に該当した場合に申請が可能です。

事前に病名を確認のうえ、医療保険の保険証と印鑑を持参してください。主治医名も把握しておきましょう。次にお勧めの方法が、本人宅最寄りの地域包括支援センターの利用です。窓口で今後の介護について相談ができるとともに、介護保険の申請手続きの代行が可能です。自宅から近く、土日と夜間も開所しているメリットがあります。持参するものは一緒です。最後は、完成させた介護認定申請書とともに、65歳以上は介護保険、40歳以上65歳未満は医療保険の保険証のコピーを添えて、役所の窓口で郵送申請をするという方法です。その後、主治医意見書が作成され本人への調査をふまえて、約1カ月後に認定結果が通知されます。

(リハビリテーション病院医療福祉相談室 内田知世)



今回、医療安全週間において、2階病棟のスタッフが作成した「安全はチームみんなの指と声」が選出されたことに感謝致します。この絵を作成するにあたり私が最初に「患者の安全」を考えた時、一体何が一番重要なのかを振り返りました。そしてそれは医師や看護師だけではなく、薬剤師や検査技師など他職種ひとりひとりの「暖かい手」が患者の全てを守っていると改めて感じ取りました。患者さんを支えている私たち医療従事者は、多種多様な業務の中で「両手」を使わない時はありません。一人一人の患者さんの治療内容や看護ケアの中に、いろんな「手」が使われています。そして患者さんがその暖かい手に触れて、満足して元気に自宅へ帰られる。このように全ての医療従事者の「手」が患者さんとの良好な関係を繋ぐことができると考えます。また手を繋ぎ合うことで、ミス指摘し合い、注意喚起を促す事ができます。このようにして私たちの手は「患者の安全」を守ることにつながるというわけです。次にもう一つ「より良いチーム医療作り」を目指したいと考えました。医療従事者の職種は様々でたくさんの分野に分かれていますが、すべての患者さんへ対応はいつも「至誠一貫」です。真心を込めて安全に検査や看護ケアを提供し、安心して治療が受けられるようチーム一丸となって努力しています。現代の社会はコミュニケーション不足と言われがちですが、お互いに顔を見合わせて声を掛け合い、良好な信頼関係を持つことでサポート体制を築きミスを未然に防ぐ。お互いを理解し協力し合い話し合う場を持つ。コミュニケーションをとり合うことで患者の安全に万全を期しています。一人が欠けると大変なことになりますよね。野球やバレーボールなどのスポーツと一緒に。そんなチーム医療の大切さが感じられた暖かな絵が書けたことを、2階病棟の自慢にしたいと思っています。応援して頂いた方々本当に有りがとうございました。

(リハビリテーション病院2階 佐藤 薫)



厚生労働省では、医療安全対策に関し、医療関係者の意識向上、医療機関、関係団体等における組織的取組の促進等を図ることを目的とし、平成13年度から11月25日を含む1週間を『医療安全推進週間』と位置づけ、医療安全対策の推進を図っています。そこで、平成22年11月21日～平成22年11月27日を藤が丘病院とリハビリテーション病院の医療安全推進週間とし、医療関係者の意識向上、組織的取組として医療安全に関する標語を入れたポスターを院内で募集し投票をしてもらいました。

## 感染管理室より 『感染性胃腸炎について』

感染性胃腸炎は、主に嘔吐や下痢などの消化器症状を主として人から人に(食品から人に)感染する胃腸炎であり、冬の始まりである11月～3月頃まで流行すると言われています。



### <感染性胃腸炎豆知識>

「感染性胃腸炎」といっても原因となるウイルスや細菌は様々です。数年前にノロウイルスが流行し、その名をよく知るようになりましたが、形の小さなウイルスであり、わずかな数(10個程度)でも感染するため、家族の中でうつりやすい感染症です。通常、大腸菌は1～10億個で感染すると言われていますから、嘔吐など排泄物などに含まれたウイルスが極少量残っても感染しやすく、広がりやすい特徴を持っています。ロタウイルスも感染性胃腸炎の原因ですが、小児が発症しやすい特徴があります。もし成人が感染しても不顕性感染(症状が明らかに現れずに感染した状態)しやすく、症状が無いけれど、子どもにうつしていた。というケースも考えられます。手洗いが日常的に大切と言われる理由でもあります。その他、サルモネラや赤痢菌など細菌が原因でも起こりますが、冬は主にウイルスが原因であり、60%近くノロウイルスが原因であることが多いと言われています。

### <症状>

突然に発症する下痢・嘔吐・腹痛を主症状とし、その結果、脱水など種々の症状が加わります。

#### <潜伏期間>

ロタウイルス:1～3日間、ノロウイルス:10～48時間、腸炎ピブリオ:6～12時間

サルモネラ:12～36時間、カンピロバクター:2～11日

#### <もし罹ったら>

ウイルスの場合、効果的な治療はありません。下痢が続く場合、水分補給を行い脱水に気をつけましょう。

症状は数日で治まることが多いのですが、便などに2週間近くウイルスが含まれる場合があります。そのため、家族内でうつらないようにトイレの後や食事を作る前などの手洗いを十分に行いましょう。

### <予防>

#### 手洗いやうがい、マスク着用

感染経路(うつり方)は接触感染といって触れてうつるものです。主に、便や嘔吐物に大量に含まれていますので、トイレの後や嘔吐物の取り扱いのあとには十分に手を洗いましょう。

#### 環境

嘔吐物などで汚染した環境に残ったウイルスが空気中に漂い、吸い込んだ結果感染したといったケースも国内外でありますので、嘔吐物などで汚染した環境は汚染を拭きとったあとに、ハイターなど塩素消毒を行うことが大切です。(1000ppm = ハイター50倍希釈)

## マンドリン・マンドラ・ギターで奏でるクリスマスコンサートを開催しました

平成22年12月3日(金)藤が丘病院正面玄関にて「マンドリーノ・フェリーチェ」によるクリスマスコンサートが開催されました。横浜市青葉区を中心に活動をしている団体で、当日はマンドリン・マンドラ・ギターにより、①みかんの花咲く丘 ②エーデルワイス ③パリの空の下セーヌは流れる ④星に願いを⑤3つのクリスマスキャロル ⑥浜辺の唄が演奏され、マンドリンの優しい音色が藤が丘病院に響き渡りました。



## 青いサンタクロース 小宮山尊信選手が藤が丘病院に来院しました！

平成22年12月15日、川崎フロンターレより青いサンタクロース 小宮山選手とフロン太君が藤が丘病院へ来院しました。病棟の子どもたちは小宮山選手と一緒に歌を歌う等して、少し早めのクリスマスを楽しみ過ごすことができました。小宮山選手が帰るとき子供たちは、笑顔で『また来てね』と言っていました。



【診療統計】2010年11月～12月( )内は1日平均

	藤が丘		リハビリ	
	11月	12月	11月	12月
外来患者数	34,199人 (1,486.9人)	34,928人 (1,518.6人)	6,709人 (291.7人)	6,665人 (289.8人)
入院患者数	15,207人 (506.9人)	15,366人 (495.7人)	5,240人(169.0人)	5,229人 (168.7人)

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年、ハワイ島マウナ・ケア山頂より雲海から昇る朝日を見てきました。その時、地元ハワイアンの方が山頂にお供え物をして、チャント(詞)を唱えていました。先祖の魂が眠るマウナ・ケアと昇ってくる太陽への感謝の気持ちだと話されていました。ハワイの信仰では、神は山川草木やそれぞれの動物に宿り、農耕の神、狩猟の神もあるそうです。日本と似ていませんか？ (広報委員 岩田香苗)

広報委員 三邊武幸 末木博彦 吉村吾志夫  
谷山松雄 扇谷浩史 池田裕一 田口清 高橋良昌  
上ノ宮彰 西山謙一 岩田香苗 吉原利栄 伊藤久美  
高橋良治 庄司博 佐藤薫 川西丈巳 渡邊哲  
太田麻美 (順不同)